

山中幽人と対酌す（李白）

兩人 対酌 山花 開く

一杯 一杯 復 一杯

我 酔うて 眠らんと 欲す 卿 且く 去れ

明朝 意 有らば 琴を 抱いて 来れ

兩人對酌山花開 一杯一杯復一杯  
我醉欲眠卿且去 明朝有意抱琴來

解説 山の中で、隠者と酒を飲む情趣をうたった詩。

語釈 ※幽人||世俗を離れ、山の奥深いところに棲む人。

※対酌||向かい合つて、酒を酌みかわす。※山花||山中に咲

く花。※我酔||我は酔つた。※欲眠||眠りたい思い。

※卿且去||君暫く去れ。※抱琴来||琴を持ってまた来い。

通釈 山の中で、さし向かいで酒を飲む。あたりには山の花が満開だ。一杯、一杯、また一杯、差しつ差されつする内に、私は酔つて眠くなつたぞ。君はまあ、ちよつとあつちへ行けよ、明朝また来る気があつたら、琴を持って来ておくれ。